

事前評価個表

整理番号	11
------	----

地域（地区）名	みや・しょうがわ 宮・庄川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	たかやまし 高山市ほか2市村
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は、岐阜県の北部に位置し、^{たかやまし}高山市、^{ひだし}飛騨市、^{しらかわむら}白川村の2市1村からなる総面積 333 千 ha を包括する地区である。四方を山に囲まれており、東の^{ひだ}飛騨山脈と、西の^{はくさん}白山連峰の間には、^{とやまわん}富山湾に流れる^{じんつうがわ}神通川と庄川が流れ、その2つの河川にはさまれた山岳地帯は飛騨山地（高原（＝高地））と呼ばれる標高 1,000～1,500mの山地からなっている。 森林面積は 309 千 ha（森林率 93％）で、このうち民有林の森林面積が 192 千 ha（森林面積の 62％）となっている。人工林の年齢構成は、12 年齢をピークとした構成となっており、適切な森林整備が求められている。 また、県内では大規模な木材加工施設やバイオマス発電施設等が稼働し、木材需要が拡大している。今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与していくことが求められている。 しかしながら、現在の森林・林業を取り巻く情勢は、木材自給率及び材価の低迷、林業従事者の高齢化等、厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で、森林が本来持つ国土保全、水源涵養等の公益的機能を十分に発揮できていない。 このような状況を踏まえて、本地区では、宮・庄川地域森林計画に基づき、より効率的に施業を実施するための基盤整備や高まる木材需要に対応するために意欲と能力のある林業事業体による集約化された計画的な森林施業の促進をしているところであり、本事業では、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、森林計画等に基づく、造林、保育、間伐等の適切な森林整備を実施するものである。
事業内容・事業費	森林整備：6,635ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等 総事業費：3,710,933 千円（税抜き 3,373,575 千円）
費用便益分析結果	$B/C = 8.85$ （総便益（B）＝33,934,780 千円、総費用（C）＝3,836,603 千円）

評価結果	必要性： 水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 効率性： 計画的な森林整備により施業の集約化が図られ、費用便益分析の結果から十分な効率性が認められることから、事業の効率性が認められる。 有効性： 間伐を中心とした森林施業を効率的に推進することにより、優良材の安定的な生産に繋がり、また森林の持つ公益的機能がより高度に発揮されることになり、有効性が認められる。
------	---

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岐阜県

地域（地区）名：宮・庄川森林計画区

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	8,209,263	
	流域貯水便益	2,496,758	
	水質浄化便益	10,213,637	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,896,657	
環境保全便益	炭素固定便益	1,974,081	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,144,384	
総 便 益 (B)		33,934,780	
総 費 用 (C)		3,836,603	
費用便益比	$B \div C = \frac{33,934,780}{3,836,603} = 8.85$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{51,864,921}{4,427,976} = 11.71$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{65,676,919}{4,819,049} = 13.63$		

森林環境保全整備事業 宮・庄川地域(岐阜県)概要図

